

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	次世代育成母子保健事業		所管課【2】	保健予防課
			評価者(担当者)	井戸 泉
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑤いきいきと暮らせる福祉のまちづくり		
	主要施策(節)	(2)保健活動の推進		
	施策区分	(1)保健活動の推進		
(市民意識調査結果)		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域	<input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域	<input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 母子保健法、新生児及び乳児訪問指導事業実施要綱等 】			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市次世代育成支援行動計画(後期計画) 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 1 目 3 細目 5】			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、母性又は保護者が自主的に妊娠・出産または育児について正しい知識を得て理解を熟成するため。
対象(誰、何に対して) 【9】	妊産婦・パートナー及び保護者・乳幼児・母子保健推進員
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	母子手帳交付、個別相談、健康教育(座談会・学習会)、保健指導、家庭訪問を通して心身ともに健やかな妊娠・出産・子育てを行うことで、乳幼児が健やかに育つ環境を整備する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】	
事務事業の具体的内容 【14】	母子手帳交付をはじめ、妊産婦訪問等を行い、保健指導を行うことで、妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進を図ることができるよう支援する。	事務事業を構成する細事業 【15】
		① 母子・父子健康手帳交付及び両親学級事業
		② 妊産婦訪問事業
		③ 乳幼児訪問事業
		④ さくらんぼ学級業務
		⑤ 母子保健推進員活動支援業務

《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	4,045	2,999	3,376	3,900	
	【16】 小 計	4,045	2,999	3,376	3,900	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	199	223	260	280		
	職人 員 の 費	職員人工数	2.21	1.91	2.08	2.08	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424	
【17】 小 計		12,398	10,360	11,282	11,282		
合 計		16,443	13,359	14,658	15,182		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 母子・父子健康手帳交付及び両親学級事業	妊婦へ問診、集団教育、個別保健指導を行い手帳を交付する。	手帳交付数	人	550	558	559	560
② 妊産婦訪問事業	妊産婦を訪問し個別保健指導を行う。(妊娠・産後2ヶ月頃)	訪問人数(実人員)	人	471	496	455	470
③ 乳幼児訪問事業	2ヶ月児を訪問し個別保健指導、体重測定を行う。	訪問人数(実人員)	人	442	495	454	470
④ さくらんぼ学級業務	2ヶ月児の母子を対象に集団教育、計測、個別保健指導を行う。	開催回数	回	24	24	24	24
⑤ 母子保健推進員活動支援業務	母子保健推進員が妊婦訪問、乳児訪問を行う。	訪問件数	件	765	820	837	840

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 訪問指導率	訪問乳児人数/年間出生数	%	80.0	80.0	93.0	90.0
			79.6	95.6	85.2	
2 さくらんぼ学級参加率	参加した母親の数/対象者数	%	85.0	85.0	85.0	85.0
			82.3	87.0	78.4	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	心身や環境が大きく変わる妊産婦や乳幼児の時期への関わりは、その後の子どもや若い両親の将来の生活に大きく影響を及ぼす為、身近な場での安心できる健康管理やサポート体制が不可欠であるため。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	母子の健やかな発育・発達のために、全ての乳児に対するきめ細かな訪問や相談を行えるような体制づくりを整える必要がある。より支援の必要な親子に、さらに踏み込んだ相談支援ができる事業展開を検討していく。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	平成27年度も、地域で保健師や民生委員等と連携して母子を支援していけるように民生委員との合同研修会開催や先進地視察等研修会を充実させ母子保健推進員の育成を行っていく。また現在2か所で活動開始している利用者支援事業所と連携し、さらに国が薦めている妊娠期から子育て期、さらにその前の思春期からの切れ目のない支援が行えるような包括的な体制づくりについて具体的に検討を進める。
昨年からの見直し・改善状況【32】	出生第1子の訪問は担当地区保健師が行い、第2子以降は助産師・母子保健推進員が訪問して、すべての乳児の家庭の状況を把握・保健指導を行うことで、育児不安の軽減や健やかな発育・発達へとつながっている。また特に初めての育児で戸惑う事多い第1子の親への心身のサポート講座(BP)や出産後の母親の心身の回復のために重要な時期のママビクスの普及にも平成27年度から取り組んでいる。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	母子が安心して暮らせる市であるよう、訪問活動、さくらんぼ学級の活動を強化しながら継続すべき事業である。	評価責任者 中野幸子
------------------	---	---------------